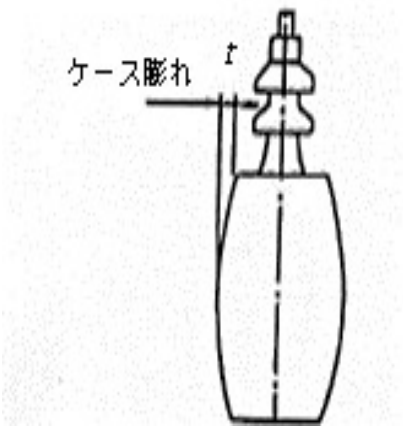
保守点検

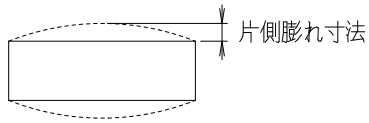


コンデンサ設備容量 kvar	ケース膨れ限度の目安 mm
10～36	8～15
50	10～20
75～100	10～25
150以上	15～30

この表の寸法は目安であり，製造業者、製作年、タイプにより異なるので、メーカに問い合わせください。

保守点検

ケース 片側 膨れ許容寸法 （mm以下）6600V標準品										
タイプ		ＮＥＦタイプ	ＳＢＦタイプ		ＳＨ高圧タイプ					
品番 (***は定格を表す数字)		NEF－＊＊＊＊＊R NEF－N＊＊＊＊＊R	SBF－＊＊＊＊＊R SBF－＊＊＊＊＊RN	SBF－N＊＊＊＊＊R AF＊＊＊＊＊＊K＊1	AF＊＊＊＊＊＊K＊2	AF＊＊＊＊＊＊K＊5	AF＊＊＊＊＊＊K＊7	AF＊＊＊＊＊＊K＊B AF＊＊＊＊＊＊K＊B1	AF702＊＊＊K＊C	AF702＊＊＊K＊C1
定格設備容量	10 ～ 36 kvar	15	15	10	8	8	8	10	8	10
	50 kvar	20	20	15	10	10	10	10	10	10
	75～100kvar	25	25	15	10	10	10(1)	10(1)	10	10
	150kvar	30	30	20	15	－	15	15	－	15
	200kvar	30	30	20	15	－	15	15	－	13(2)
	250 kvar	30	30	20	15	－	15	15	－	13
	300 kvar	30	30	20	15	－	15	15	－	15
	400～500 kvar	30	30	25	15	－	15	15	－	15
製造期間 (3)		1972～1980	1978～1984	1982～1995	1985～2000	1990～2000	1998～2003	2000～2018	2016～	

注 ① (1) 50Hz, 100 kvarは13 mm以下
注 ② (2) 50Hz, 200 kvarは15 mm以下
注 ③ (3) 製造期間は、若干異なる場合がありますので注意ください。
注 ④ 本表は6600V品の標準タイプを示す。L=13%品や、3300V品などは若干異なる場合があるの詳細は問い合わせください

ケース片側膨れ寸法は右図の寸法を示す。